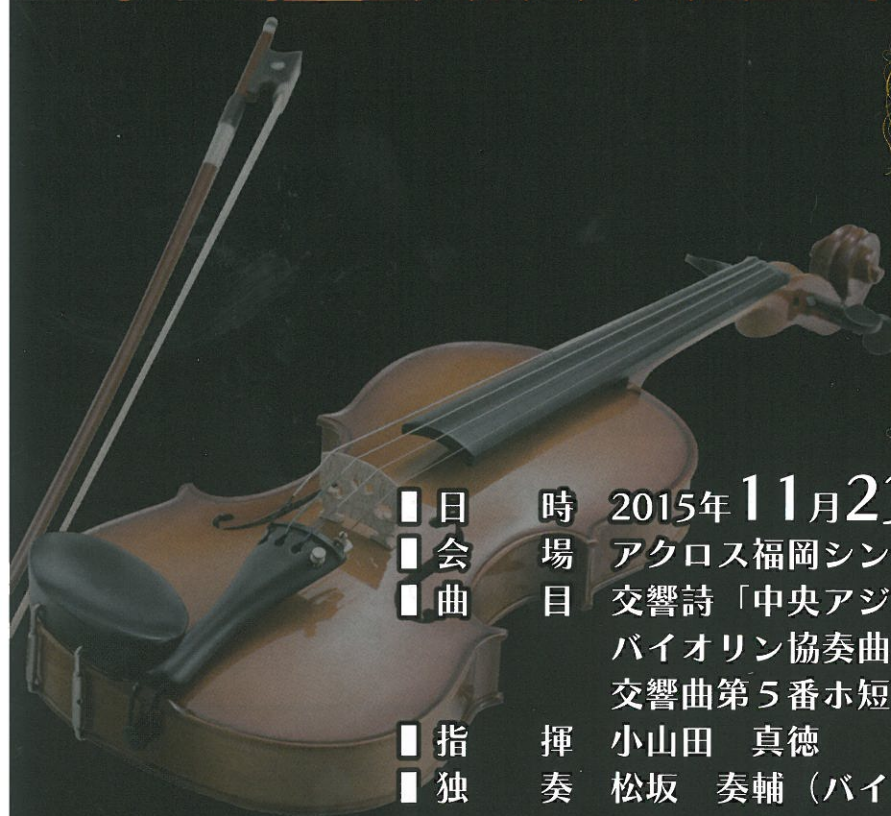


精華女子短期大学コミュニティオーケストラ 第13回定期演奏会



指揮
小山田 真徳



バイオリン独奏
松坂 奏輔

■ 目 時 2015年11月23日 (月・祝) 開演14:00 (開場13:00)
 ■ 会 場 アクロス福岡シンフォニーホール (福岡市中央区天神1-1-1)
 ■ 曲 目 交響詩「中央アジアの草原にて」(ボロディン)
 バイオリン協奏曲ニ長調Op.35 (チャイコフスキー)
 交響曲第5番ホ短調Op.64 (チャイコフスキー)
 ■ 指 揮 小山田 真徳
 ■ 独 奏 松坂 奏輔 (バイオリン)
 ■ 入場料金 1,000円 (小学生以下無料)

・チケット取扱 精華女子短期大学 TEL : (092) 591-6331 アクロス福岡チケットセンター TEL : (092) 725-9112
 ヤマハミュージック福岡店 TEL : (092) 721-7633 ヴィオール・プロジェクト事務局 TEL : (092) 846-0437
 ・お問合せ 精華女子短期大学 TEL : (092) 591-6331 メール : info@seika.ac.jp
 ホームページ : <http://www.seika.ac.jp/students/sco/sco.htm>
 ・主 催 精華女子短期大学コミュニティオーケストラ、精華女子短期大学エクステンションセンター
 ・後 援 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市、福岡市教育委員会、春日市、春日市教育委員会、(財)福岡市文化芸術振興財団、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、忍冬会 (精華女子短期大学同窓会)、(株)ヤマハミュージッククリエティング

精華女子短期大学コミュニティオーケストラ

地域に根ざした開かれた大学づくりを目指して、本学や他大学の学生さらには音楽を愛好する地域の方々にも参加を呼びかけて、2003年4月に設立したオーケストラです。

教育現場や市民によるオーケストラは各地に点在しますが、大学と地域社会とのタイアップによるオーケストラ設立は全国的にもあまり例がありません。これまでに12回の定期演奏会、6回のキャンパスコンサート、15回の依頼演奏会を実施しました。現在、第13回定演に向けて、団員一同練習に励んでいます。

今後も引き続き、本学が音楽の情報発信基地として、地域のコミュニティ文化の向上に少しでも寄与できるような活動を展開していきたいと考えております。皆様のご来場をお待ちしています。

プロフィール

指揮 小山田 真徳

ドイツ国立ベルリン芸術大学音楽学部指揮科卒業。オーストリア国立ウィーン芸術大学音楽学部指揮科留学（オーストリア政府給費留学）。西日本オペラ協会「コンセル・ピエール」副指揮者、九州交響楽団指揮者、久留米青少年交響楽団常任指揮者、宗像フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、久留米市民オーケストラ客員指揮者、RKB女声合唱団常任指揮者 歴任。現在 精華女子短期大学幼児保育学科教授。精華女子短期大学コミュニティオーケストラ常任指揮者。宗像フィルハーモニー管弦楽団名誉指揮者。

（これまでに指揮をしたオーケストラ）

ベルリン交響楽団、ベルリン芸術大学オーケストラ、アルデン・ピーゼン古城国際音楽祭オーケストラ（ベルギー）、九州交響楽団、広島交響楽団、熊本交響楽団、橋貞夫メモリアルオーケストラ、福岡教育大学管弦楽団、長崎大学管弦楽団、福岡大学交響楽団、西日本医科学生オーケストラなど多数

バイオリン独奏 松坂 奏輔

福岡市出身。5歳よりバイオリンを始め、太期晴子氏に師事。「全日本学生音楽コンクール」などのコンクールに入賞後、1997年よりベルギーに渡りブリュッセル、ルーヴェンにてバイオリンを川口エリサ氏に、室内楽をルール・ディルティンス、エティエヌ・シーベンス、ライナー・ホフマンの各氏に師事。

2000年のニューイヤークンサートにてレメンス・インスティテュート室内オーケストラとの共演他、多数のオーケストラのソリストを務め、「熱い音楽性と最高のテクニック」「心に語りかけるブリリアントな音色を持つ、才能溢れるバイオリニスト」（ノルドホルンズ・ダハブラッド紙）等と様々なメディアから、国際的な高い評価を得る。

2001年、レメンス・インスティテュート音楽院を満場一致の最優秀の成績で修了。

2003年、ドイツでリサイタルデビューを果たすと、ベルギー、オランダ、フランス、スイス、スペイン等ヨーロッパ各地で本格的な演奏活動を開始。日本でも、東京、福岡でこれまでに定期的にリサイタルを行っている。またEuro Nippon Music Festival（ベルギー）、エルサレム音楽祭（イスラエル）、Academie International d'ete（フランス）、Ticino Musica（スイス）等の音楽祭にも積極的に参加し、ローラン・コルシア、ヴァレリー・グラドフ各氏に師事。また多数の演奏会に招聘され大成功を収める。

2004年よりオランダ、アムステルダム音楽院にてヨハネス・レーアタワー氏に師事する傍ら、自ら講師としても活動し、多くの若い演奏家を育てた。

2006年、「SEAinx ENSEMBLE PROJECT」のレコーディングに参加、パワーレコード・レーベルよりCDをリリース。ヨーロッパ各国で発売され、高く評価されている。

2008年より主な活動の拠点を欧州から日本に移し、第46回北九州芸術祭では大賞を受賞、同年フランスにて招待演奏旅行を行い大成功を収める。

2009年、待望のデビューソロアルバム「ツイゴイネルワイゼン」をリリース。「ここに聴く音色とその扱い方、歌いくちのゆかしさには、既に非凡な境地に達したものが実感される」（音楽評論家 濱田滋郎氏）他、雑誌や新聞など各メディアからも高く評価される。

2011年、セカンドアルバム「アヴェ・マリア」リリース。現在は日本国内外問わず、自身プロデュースのコンサートシリーズの定期的な開催やオーケストラとの共演、室内楽の演奏活動、またTVやラジオ出演、講演等多岐にわたる活動を展開中。

